

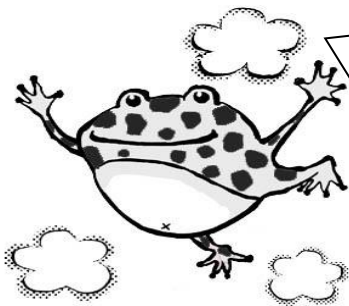
かえる便り 2019年度25号

令和2年3月9日

早春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルスによる影響が教育界やスポーツ界等に様々な形で出てきています。サッカー部も部員達の健康を考慮して、3月下旬にある大分遠征を中止しました。感染が拡大するのか終息に向かうのかはさまざまな見解があるようですので、4月の下関遠征につきましては状況等を見ながら検討したいと思っております。

卒業式当日、スタッフと3年生及び保護者様で簡単なお別れ会をいたしました。その際、3年生から後輩たちへビデオメッセージをもらい、後日それを部員達に見せました。自分の行動と後悔、後輩たちへ託す思い、保護者の皆様の応援などについて述べてくれています。私自身も卒部式で3年生の話を聞くことで、多くの気付きや反省すべきことを教えてもらっていました。部員達は卒業生の思いをどのように受け止めたのでしょうか？3年生は真に変わって欲しいと願っていますが…。



どんな心で × どのような行動をするか = 結果（未来） どれだけ根気よく行動をするかが大切なのです。 継続は力なり 千里の道も一歩より未来を変えるのは自分自身です。我々が導く努力をしても、自分勝手な行動をとり、自ら負の連鎖に入っていく者 がいます。どのような行動を続けるか、続けても直ぐによい結果が出ることは稀です。そこで諦めない人が成功に近付くのですが・・・。

勝負事において、負ける原因は全て自分にあります。凄腕の強者でもとんでもないミスをし、弱者がその相手からのチャンスをものにして勝つことがあります。その際の勝者は、実力で勝ったのではないことを知ることが大切です。敗者にはミスという明確な原因があります。つまり『自分達に原因があり負ける』のです。そのミスを改善することが勝者への道なのですが、改善するための努力を継続しない人が多い。そのような人を観察していれば、『勝者になる為の行動』をしていません。

行動に斑があり、継続性がない悪い習慣を改善することをしていないのです。

全力を出したかと思えば、直ぐ手抜きをします。それを繰り返す自分の行動には注意を払わないで、周りが自分のことを分かってくれない。そして、また怠けるという悪循環を繰り返しています。実力とは 実行力 です。どれだけ継続した実行をしたかが自分の力（心の強さ）になるのです。自分を見つめて欲しいものです。